

朝倉地区学校適正配置地元代表協議会 中間まとめ

	質問等	事務局回答等
学校に関する こと	1 統合したら、小中の9年間、同じメンバーで1クラスになる。これがいいのかどうか。	統合して学年2クラスできない場合においても、適度な人数(過少規模過ぎない)での学級編成ができれば、クラスに一定の人数がいることにより、学習面で、大きな集団での学習活動や小さなグループでの学習活動など多様な学習形態にある程度対応できるようになることや、コミュニケーション能力を身につけて行くこと等、メリットは大きいと考えている。(少人数によるきめ細かい指導等のメリットは、教員配置やティームテイミング等により利点を損なわない指導も可能であるが、人数が少なすぎる事による、集団の中でのコミュニケーション能力の育ちや、学習面で場面に応じてのグループ編成に幅を持たず事ができない等のデメリットについては、教員の努力によっても根本的な解消は難しい。)
	2 小学校は、少人数でゆっくり伸び伸び学習させたい。少人数なりにいい所(主役になれる機会が多いなど)がある。中学校は、ある程度の人数がいて、切磋琢磨し合う方が良いと思う。	その上で、9年間同じクラスで人間関係が心配ということについては、統合校では、児童生徒の心理的な面を十分ケアするとともに、市の嘱託教員の増員配置や、統合前の教師をバランスよく配置する等十分な配慮をしていくことにより、デメリットについては十分対応可能だと考えている。
	3 友達が多くても、先生に放っておかれるくらいなら、少人数でもよく見てくれる方がいい。教師の目が行き届かなくなり、トラブルが増えるかもしれない。	新たな人間関係での心配な点は十分に理解するが、その点だけで統合を考えるのではなく、他の学習面や人間関係のメリットも考慮した上で前向きな検討をお願いしたい。
	4 統合すると、上朝小の方が少人数だから、肩身が狭く、いじめられるかもしれない。学校生活の変化が不安である。	複式学級にもいい所があるかもしれないが、「渡り」の授業では、子どもの思考過程を見てやれず、出してきた答えを見て、理解したかどうかを判断するしかない。学習面において、子どもが犠牲になる。
	5 複式学級について、実感が湧いていない。少人数、複式にもいいところがあるのではないかと。縦の学年とも仲が良い。	仮に統合が決定した場合、制服や校歌、校章をどうするかという事を協議する「統合準備会」が設置される。その場で十分ご協議いただく。
	6 標準服(制服)についての不安がある。	後の施設について、市としては、地域活性化に役立つのであれば、有効な利用を考えていくという基本姿勢でいる。地域の方のお知恵も必要になるだろうと考えている。
	7 統合すると、使わなくなる施設がもったいない。	基本方針にも出ているとおり、規定距離を越す場合の通学バスなど、十分な配慮をするよう考えている。
	8 通学(バスなど)について不安がある。専用バスがでるのか。路線バスは便が少ない。、低学年の体力、高学年は部活動で遅くなる、という不安がある。	予定も含め、現在も交流を進めている。(英語、体育、食育体験授業など)
	9 合併しようがしまいが、上朝小と下朝小の交流を進めて欲しい。	子どもたちに大きな行事を体験させる事は、子どもの育ちにとって重要な事であるが、学校が義務教育施設として、「子どもたちの学習の場としての機能を高める」という観点からもご検討いただきたい。
	10 学習面は今のままで、大きな行事を合同で行ってはどうか。	同性の同級生がいらない。親の気持ちとしては抵抗がある。
	11 現在の朝小について、児童数が少なすぎる。複式になっているので、授業の進捗が不安である。	教育環境として懸念している。

朝倉地区学校適正配置地元代表協議会 中間まとめ

	質問等	事務局回答等		
地域に関する事	13	学校がなくなるショックは大きい。学校がなくなることによって、地域が寂れてしまう。母校が無くなるのは残念。	学校は、教育施設であると同時に、災害時の避難場所であったり、地域の文化・スポーツの活動拠点であったりと、地域の拠点的な役割を担っており、そのような、地域の文化施設、精神的支柱という側面を踏まえる事は非常に重要な事である。 しかしながら、やはり、小中学校は、「子どもたちの義務教育としての施設」であり、「子どもの学習の場としての機能を高めていく」という教育論をやはり第一としてお考え頂きたい。 もしかしたら、「子どものための、教育環境・義務教育施設」という側面から学校が求められる事と、「地域の精神的支柱」という側面とで、地域の中でも、意見のずれが生じる場合があるかもしれません。 その場合、地域から学校がなくなるのは「とにかくだめだ」というだけではなく、仮に学校を統合した場合においても、「地域と学校のつながりをどう維持していくか、また維持して行く方法もあるのではないか。」という観点からも学校と地域社会のあり方についてお考えいただきたい。	
	14	上朝小に来て欲しい。上朝小を残したい。自然に囲まれた、環境がいい学校である。上朝にもいい風土があることを考えて欲しい。		
	15	自然の中で子どもが育つことは、人間形成にも大事なことと思っている。		
	16	上朝小がなくなれば、今治に山地の学校というものがなくなる。		
	17	今までの伝統を後世に引き継いでいくことにより、子どもたちに責任を自覚させることができる。		
	18	上朝には、見守り隊といった、周辺の協力体制ができています。地域の方、お年寄りの方とふれあう機会が多く、心の成長がうかがえる。		
	19	旧富田・清水が統合して南中ができたが、そのときも文化的なことなどで、批判があったか。		表面に見えるような批判はなかったと、記憶している。
	20	総代などで話し合い、地域の意見をまとめ、発表してくれるのか。地域のことを心配する声が多い。地域の意見を聞きたい。地域の方の声が気になる。		この協議会には、総代さん等地域の方にもでていただいている。協議の進行にあわせて、地元でも話し合いの場を持っていただきたい。
	21	地域のバックアップがないと前に進まないのではないか。		
22	学校がなくなったら、上朝地区に他の避難所が確保できるのか。	他に替わる場所があれば、避難所の指定も替わるだろうが、無ければ、残してもらえよう行政に依頼する。		
その他	23	マスコミに発言者の実名報道はなされるのか。	協議会の冒頭で公開、非公開を諮るが、公開することなら、実名報道があってもやむを得ないと考えている。	
	24	守秘義務はあるのか。	原則はない。もしある場合は、前もってお願いする。	
	25	「合併ありき」なのか。	「統合ありき」ではない。いろいろ意見を出し合ってもらい、子どものことを考えた上での結果を尊重したい。	

朝倉地区学校適正配置地元代表協議会 中間まとめ

	質問等	事務局回答等
その他	26 愛媛新聞に、クラス編成を35人編成(現在は40人編成)とする予定があると出ている。国の方針は、1学級の生徒数を減らす方向なのに、統合するという考えは、方向性が違うのではないか。	35人学級編成の背景としては、授業時間数の増加が見込まれる新学習指導要領の円滑な実施、児童・生徒指導等複雑化する学級運営の課題等へ対応し、教員が子どもと十分向き合う時間の確保等、少人数学級のメリットに目を向けたものとなっている。 ただ、35人学級編成においても、国の学校の適正規模は教職員の配置の基準である学級数を基準に表すのが一般的であり、1校12学級～18学級(適正規模の下限12学級で1学年2学級規模)を適正としており、その点の変更はなく、今回の策定の背景と併せて考えても、学校規模が小規模ほど良いということではとらえていない。 適正規模の基準として12学級を下限として、市内の小規模校は、6学級程度の所が多いようであるが、その6学級を下回る場合、いっそう教員の配置面、複式学級の教育への影響等について懸念している。(特に上朝小では、35人編成としても、複式学級が残り、2・3学年、4・5学年で複式編成となるため、6学年に対し、教員の定数配置が4人と厳しい状況がある。) 無論、学校規模に関係なく学校の先生方は、子どもの教育について常に努力していただいております、少人数教育のメリットにつきましても無論認識している。 今回の市内学校適正配置についても、効率を重視して、大規模の学校を作るということではない。 朝倉地区においても、小規模校の良さはそのままに、過少規模のデメリットを解消していく事について、朝倉地区での地域性を踏まえたくえで、十分ご検討いただきたい。
	27 上朝小の、現在の学校運営に不便を感じていない。	無論、学校規模に関係なく学校の先生方は、子どもの教育について常に努力していただいております、少人数教育のメリットにつきましても無論認識している。 今回の市内学校適正配置についても、効率を重視して、大規模の学校を作るということではない。 朝倉地区においても、小規模校の良さはそのままに、過少規模のデメリットを解消していく事について、朝倉地区での地域性を踏まえたくえで、十分ご検討いただきたい。
	28 旧今治市の小学校(桜井小など)との校区変更などは、考えていないのか。統廃合の前に校区の見直しをする必要があるのではないか。	校区について線引きをし直すとしたら、市内全部を一から見直さなければならず、非常な困難を伴う。また、小規模校をたくさん作る結果になるため、まずは、歴史的、文化的、地域的なつながりのある朝倉地域内での統合について考えていただきたい。
	29 中学校が下朝にあるのだから、小学校は上朝にするのが適正配置では、どちらの学校を存続させるのか。校舎は新設しないのか。	統合校の配置については、施設・通学・学校規模等、様々な検討項目があるだろうから、今後、協議会において、十分ご協議いただきたい。校舎の新設は考えていない。
	30 中学校について、いずれは、南中等との統合も、という構想はあるのか。地域文化にあまりとらわれず、柔軟に将来を見越しても良いのではないか。	現時点では、陸地部については、旧町村を超えた統合は考えていない。
	31 何のために統合が必要なのか。お金のためか。行政の都合か。	子どもたちにより良い教育環境を提供するためである。
	32 他市には、もっと少人数の学校もある。慌てて統合しなくてもいいのではないか。	現在の過小規模校の状況については、早急に検討する必要があると考えています。

朝倉地区学校適正配置地元代表協議会 中間まとめ

		質問等	事務局回答等
その他	33	行政としても、人口を増やす工夫が必要なのではないか。(市営住宅など)	地域振興ということは、行政として十分に受け止める必要がある。現在は、教育面からこの現状をどうするか、という議論を進めているが、仮に地域で学校統合について合意いただいた場合には、地域の振興に資する学校跡地等の有効利用も含め、市の関係各部署において十分検討が必要であると考えている。
	34	学校の統廃合の問題は、本来、地域から出る話であり、行政側から持ち上げるのは、おかしいのではないか。	市立小中学校は、市が設置する義務教育施設として、小規模化による教育環境への影響については、教育委員会も懸念するところであり、この問題を改善する為、今治市学校適正配置基本方針を示させていただいた。
	35	各小学校に統合、現状のまま、などそれぞれのパターンでシミュレーションを行い、その上で弊害や問題点を出していった方がいい。	今後、地元代表協議会へ提出させていただき、ご協議いただきたいと思います。
	36	学童保育はどうなるのか。	学童保育については、施設の利用状況や当該地域の設置状況等を考慮して検討していきます。